

第 400 回記念市 (入札日 2016 年 11 月 11 日)

— シーズン到来、メジロほか良材に高値 —

1967 (昭和 42) 年の開設以来 49 年、第 400 回となる記念市でした。

台風の影響が続いているのか、出品量は前年同期比 13%減とやや寂しかったものの、前月比では 1.9 倍となり、本格的なシーズン到来を感じさせる市となりました。

メジロカバは、ツキ板・楽器材など積極的な買いが入り、良材には 20 ～ 25 万円の値がついていました。メインのナラ・タモをはじめ、全体的にはまだ動きが弱いものの、良材には高値で落札されるものが散見されました。

近年、玉確保の時期が早まり、2 月市で手じまいする買い方さんも増えているとのことですので、次回 (第 401 回、12 月 16 日) からが最盛期となりそうです。

- 出品数量 1,168 立米 (1,512 椽、3,355 本)
 - 官材・単 椽 197 立米 (286 椽、544 本)
 - 官材・ロット 43 立米 (14 椽、189 本)
 - 民材・単 椽 929 立米 (1,212 椽、2,622 本)
 - 民材・ロット (なし)

(樹種別、単位は立米) タモ 226、マカバ 4 (3.6)、セン 88、ナラ 259、ニレ 59、キハダ 12、クルミ 17、アサダ 10、ホホ 17、エンジュ 10、カツラ 69、ザツカバ 29、シュリ 3、イタヤ 49、サクラ 9、シナ 41、メジロカバ 157、ウォールナット 68、アオダモ 0 (0.2)、その他 35

○販売数量 1,099 立米 (元落ち率 5.9%)

○販売金額 5,766 万円 (1 立米あたり平均 52,445 円)

○主要樹種の平均単価 (1 立米あたり)

タモ	55,781 円
マカバ	195,258 円
セン	35,925 円
ナラ	42,056 円
メジロ	57,166 円

○高値 (1 立米あたり、外材・イチイ・エンジュは除く。)

- ① 320,000 円 (マカバ 7.2m、42cm、1 本、1.362 立米)
- ② 299,000 円 (タモ 4.0m、70cm、1 本、1.960 立米)
- ③ 290,000 円 (タモ 5.8m、80cm、1 本、3.712 立米)

※落札結果は聞き取りによるため、漏れや誤りがある場合があります。(担当：嶋瀬)

(2016 年 11 月 18 日作成)

(2016 年 12 月 26 日修正)